

第四十三回 帝國議會 衆議院 實業教育費國庫補助法中改正法律案委員會議錄(速記)第三回

大正九年七月九日午前十時二十五分開議
出席委員左ノ如シ

高柳淳之助君 柳原九兵衛君 志賀和多利君 山田永俊君
若林德懋君 三善清之君 齊藤宇一郎君 浅賀長兵衛君
樋口秀雄君 中馬興丸君 淺賀長兵衛君
小橋藻三衛君 松下禎二君

出席政府委員左ノ如シ

文部次官 南弘君 山崎達之輔君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
實業教育費國庫補助法中改正法律案

○委員長(横山寅一郎君) 是ヨリ開會致シマシテ、前會質問ガマダ幾ラカナサリ漏れタ御方モアルト云フコトデ、保

留シテアリマスカラソレヲ…

○若林德懋君 昨日質問ヲ致シマシタ中ニ、大臣ノ御答辯ト違ツタヤウニ聽キマシタカラ、モウ一遍伺シテ置キマスガ、

此縣へ交付ニナリマス補助金デスガ、全國一縣十校ヲ限リ、學校教員ノ給料ヲ補給スルト云フ意味デ、補助ニナルヤウニ聽キマシタガ大臣ノ御辯明デハ、補助ノ方ハ教員獎勵ノ費用トシテヤンテ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ何ん

デアリマスカ、今一ハ全國一縣十校ニ限テ專科ノ教員ヲ置イテ、詰リ摸範ヲ示スト云フヤウナ意味ニ私共聽取リ

マシタガ、實業教育獎勵ト云フコトニ就テハ、實業補習學校ヲ澤山殖ヤシシマイニハ八年ノ義務教育ニスル前提ニスルト云フヤウナコトモアリマシタガ、ケレドモ實際行ハレルニ就テ一縣十校ヲ限テヤルト云フコトニナレバ、摸範ヲ示

スト云フコトニナル、サウ致シマスト、全國一萬三千カラアル學校ニ專科ヲ置イテアルモノモ澤山アラウト思ヒマス、スルト云フコトニナルモ、實業教育ノ獎勵ト云フコトモ云ヘナイト思フ、

又一方カラ見テ町村ノ經濟ヲ援ケテヤルト云フ意味モ含シテ居ナイ、スルト唯々單純ニ實業學校ニ就テ其模範ヲ示スト云フコトニ止ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、サウデアリマスカ、或ハサウデナク一般ノ實業補習學校ニ對シテ、全部政

府カラ補助シテ他日八年制ノ前提ニシヤウト云フ大計畫ト是位デハ實業教育ノ獎勵ト云フコトモ云ヘナイト思フ、

繼續セラルルノデアリマスカ

○南政府委員 此實業補習教育ノ獎勵ノ補助金ハ、大臣ノ言葉ガ多少違テ居タカ知レマセヌ、ケレド専任教員ノ設置ヲ獎勵スルト云フ爲メニ専任教員ニ向シテ俸給ヲ支出スルト云フノガ、本案ノ趣意デアリマス、前三モ申上テマシタ通り、現在ノ補習教育ノ一番缺點ハ、専任教員ガ得ラレヌコトデアリマス、此缺點ヲ補フコトガ目下ノ急務ト信ジマシテ、専任教員ノ設置ヲ獎勵スルト云フ大趣意カラ、此補助金ヲ交付スルト云フ、法律案ノ改正ヲ願ツタノデアリマス、各府縣二十校ト云フノモ決マッタ譯デモアリマセヌガ、大体ノ目安——約一縣十人ト云フ目安ニ過ギナインデアリマスガ、無論是ダケノ金ヲ以テ、政府ハ十分其目的ヲ達スルニハ不十分カトモ思ヒマスガ、取敢ヘズ現在ノ缺陷ヲ補フコトニ致シマシタノデ將來尚ホ大ニニ缺陷カアッテ益、補助ノ增加ヲスル必要ヲ認メマスレバ、無論增加ノ事モ要求致シタイト考ヘテ居リマス

○齊藤宇一郎君 一寸只今ノ説明ニ就テ疑義ガ起リマシタ、大臣ノ御説明ハ、各實業ノ専門教員ノ養成ニ重キヲ置ク積リデアルト云フ御辯明ノヤウニ承リマシタ、只今次官ノ御説明ニ依ルト、設置ノ獎勵ニ使フト云フ、是ハ餘程意味カ違フト思ヒマス、今日一番困シテ居ル事ハ、金ハ出スカ人ヲ得ラレヌト云フコトガ、一番困シテ居ルソレデ私共ハ此前ノ委員會ニ於テハ、其人ヲ造ルト云フ方面ニ御使ヒニナルト承シテ、適當ナ事ト考ヘテ居タノデアリマスガ、其設置ト養成ノ意味ヲモット徹底スルヤウニ御説明ヲ願ヒタイ

○南政府委員 第六條ノ「改正ノ趣意ハ、専任教員ノ設置ヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、ソレカラ實業教員ノ養成ノ事ハ、政府ニ於テハ十分ニ努メテ居リマス、現ニ此豫算ノ中ニモ、大阪ニモ更ニ實業教員ノ養成ノ費用モ要求シテアリマス、ソレカラ第七條ノ「八分ノ一部」ト御改正ヲ願フノモ、實ハ實業教員ノ養成ノ費用ニ充アル爲メアリマス、其點ニ就テハ政府モ十分ニ力ヲ盡ス積リデアリマス

○中馬興丸君 中學校ノ事ニ就テ御尋シタイ、只今ノ中學校令ニ依リマスト、生徒ノ定員ハ八百トナツテ居ルト思ヒカ、或ハサウデナク出來ナイ、斯ウ云フコトデアルが、現在ノ所デハ是位シカ出来ナイ、斯ウ云フコトデアルが、現在ノ所デハ是位シカ

千五百人ニ増スト云フ御考ハアリマセヌカ

○南政府委員 只今ノ御尋ハ實ハ吾々モ同感デアリマス、現在ノ義務教育ヲ終テ中學ヘ志望者ノ幾分シカ收容出來スト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジマス尤モ今年ハ餘程學校モ増置シ、又各府縣ニ定員ノ増加モ致シマシタ、併シ今御説ノ通り、最大ガ八百人ニアリテソレガ爲メニ、今日非常ニ入學ノ出來ヌカアルト云フコトニ就キマシテハ、何トカラス、遠カラズ御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ熱心ニ調査シテ居リマス、遠カラズ御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘマス

○山田永俊君 其教員ノ養成ノ方法ハドウ云フ風ニナサ

○山崎政府委員 極習學校ノ教員養成ノ方法ノ御尋デアリマスガ先程カラ次官ヨリ御答致シタ通り、今度ノ三十万圓ハ養成ノ費用デナク、置ク方ニ對スル補助デアリマスガ、一方養成ノ方ハ大體府縣ニ於テ――尤モ主トシテ農業教員ノ養成デアリマスガ、是ハ多ク各府縣ノ農學校ニ養成所ヲ附設スル、或ハ師範學校ニ附設シテ養成ヲヤシテ居リマス、其ヤリ方ハ大體師範學校ノ卒業生、又ハ農學校ノ卒業生ヲ一ヶ年位教育シテヤシテ居リマス、固ヨリ十分トハ考ヘマセヌケレドモ今日ノ所デハソノ位ノ養成方法ヲ以テ、補習學校ノ方ハ満足スルヨリ仕方ガナイト考ヘテ居リマス、此方ハ直接ノ關係ハアリマセヌ

○齊藤宇一郎君 當局ノ説明ガ甚ダ私共ノ期待ニ背クヤウデアリマスガ、全局長ノ御説明デモ、此年額三十万圓、要求額十五万圓ト云フモノハ、設置ニヤルノデアッテ、教員養成トハ直接關係ガナイト云フ御説明ノヤウデアリマス、私共ハ前述ベマシタヤウナ理由デ、第七條ノ「八分ノ一部」ト改正サレタノハ餘程意味ノアルモノデアッテ、目下ノ所デハ足リマトイト云フ意味カヌ、當局ガ餘程之ニ重キヲ置イテ居ツタノデアリマスガサウナルト私共ノ希望ト、餘程遠ザカッテ來ルヤウニ思ヒマスガ、ドウ云フ御趣意デアリマスカ

○山崎政府委員 私ノ申上ダタノハ、第六條ノ「一部」即チ三十万圓ノ補助ノコトニ就テ申上ダタノデアリマス、御話ノ通りニ、第七條ノ八分ノ一部ト改メマシタノハ、是ハ實業學校教員養成ノ關係デアリマス、尤モ是ハ主トシテ甲種、乙種ノ學校教員ノ養成ヲ、政府直接ニヤシテ居ルノデ

○齊藤宇一郎君 今度ノ改正案ニ伴テ十五萬圓ト云フ
モノ卽チ半年分、年額ニシマスレバ 三十萬圓ヲ要求シテ居
ルノハ、實業補習教員ノ養成ニ使フト云フ意味ニ於テ要求
シタト云フノハ、提案ノ趣旨及大臣ノ御説明ニ依テ明カデ
アリマス、其意味カラ改正ガ出来テ居ルノデアル、六條ノ二
ト七條ニ於テ卽チ一部ト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、
サウシマスルト、主トシテ六條ノ二ニ依テノ補習教育、専任
教師ノ設置ニ使フノデアリマス、十五萬圓ト云フ、教員養成ニ
使フト云フ金ハ、御説明デアリマスガ、此七條ニ八分ノ一ヲ
一部ニシタト云フコトハ、尙ホ進ンデ金ヲ之ニ注イテ、大ニ
教員ヲ造ルト云フコトニナルヤウニ、私共ハ諒解セザルヲ得
ナイノデアリマス、サウシマスト今度ソレニ三十萬圓要求セ
ラレルト云フ論旨ハ、何處ニアルカ、之ヲ設置シタ場合ニ依
テト云フコトハ、現在モ置キタイケレドモ、人ガ居ナイト云
フコトニ窮シテ居ルト云フコトハ、是ハ全國ノ聲ダラウト思
ヒマス、故ニ是ハ寧ロ今人ノナイモノヲ置ケト云フコトヨリ
モ、コ、數年ノ間ハ教員養成ニ全力ヲ注イダ方カ、寧ロ今
日ノ場合ニ適當シタ方法デ、アラウト云フ考ヲ有シテ居タ
場合モ、大臣ノ説明ヲ私ハ承クノアリシタガ、此前ノ委
員會デハ大臣考慮シテ、適當ナル計畫デアルト思ッテ居タ
デアリマスカ、ソレガ私共ハ徹底致シマセヌカラ、尙ホ御説明
ヲ願ヒタインデアリマス

○南政府委員 大体先程カラ御説明申上ゲマシタ通リデ
アリマスガ、多少御意見ノ相違ニアルヤニナルカモ知レナ
イト思ヒマスガ、政府當局者ノ見ル所ニ依リマシテ、現在
補習教育ノ缺陷ハ、専任教員ヲ養成シテ之ヲ補充スルガ
一番番デアル、是ハ専任教員ト申シマスレバ、必スシモ實業ノ
學校ヲ擔任スル教員トハ限ラナイノデアリマシテ、此實業補
習教育ノ中ニハ、普通ノ科目モアリマスルシ、普通教育モ大
分アル、又實業ノ科目モアリマスガ、兎モ角此實業補習教育
育ヲ擔任スル専任教員ト云フモノハ最モ必要デアル、今
日ノヤウニ、小學校ノ教員ガ片手間デヤシテ居ルト云フ、コレ
ハ最モ此補習教育ノ發達ヲ害スル所以デアルト云フ考ヘカ
え、兎ニ角專任教員ノ設置ヲ獎勵スルト云フコトガ、目下ノ
急務デアル 尤モ此教員養成ト云フコトモ必要ナルコトデア
リマスガ、其事を決シテ粗略ニスルト云フノデハアリマセヌ、
實業學校ニ無論重キヲ措キ、甲種、乙種ノ學校ノ實業教
育ノ教師デアリマスケレドモ無論是等ノ人モ、補習教育ノ
任ニ當ル人モアリマセウケレドモ、ソレ等ニ就ハ別ニ豫算
ニ要求シテアリマス、此第七條ノ實業教員ノ養成ト云フコ

トガ、何カ達フヤウニナッテ居リマス、兎ニ角一方で養成ト云
フコトモ、無論必要デアリマスルガ、今日ノ状態カラ見マシテ
ハ、専任教員ヲ置カシメルト云フコトガ最モ實業補習教育
ノ發達獎勵ヲスル上ニ於テ最も必要デアルトスウ考ヘマシ
テ、第六條ノ改正案ヲ提案シタ次第デアリマス
○齊藤宇一郎君 只今ノ御説明ニ依レバ、兎ニ角一方で養成ト云
アルト普通ノ教員デアルトヲ問ハズシテ、専任ノモノデアリ
サヘスレバ、實業教育カ發達スルト云フ御考ヲ有ツテ居ルヤ
ウニ、私ハ問ウノデアリマス、此問題ハ實業教育ニ限ツテアル
ノデアリマスカラ、唯々兼務デハ、甚々懐ナイ所ガアルカラシ
テ、普通ノ教員マデモ、専任ニナリサヘスレバ宜シトイ云フ、
御趣意ノヤウニ承ルノデアリマシテ、甚々私共ガ本案ニ對ス
ル御説明トシテ異様ニ感ズルノデアリマス、私共ハ此實業
教育ト云フコトニ付テ、今研究フシテ居ル積リテ述ベテ居ル
ノデアリマス、然ニ何デモ構ハズ、専任デアリサヘスレバ宜
イト云フ趣旨ハ、甚々私共ハ満足ガ出来ナイノデアリマス、
今意見ガ遡ウヤウデアルト云フ御話デアルカラ、意見ノ達フ
所ハアドナシテ述べマスカソコガマダハッキリ判リマセヌ
○南政府委員 實業補習教育ハ、實業ノミ教ヘルノガ目
的デアリマセヌ、實ハ普通科目モ教ヘマス、實業教育モ加ヘ
テヤル、又此ノ普通科目モ大ニヤルト云フノカ、此補習教育
ノ目的デアリマス、其點カラ見マスレバ、必シモ此専任教員
ハ實業教育ニ限ル積リテアリマセヌ、普通科目ノ人デモ宜
シイ、又實業ノ人デモ宜シイ、兎ニ角専任教員ガアッテ、専ラ
補習教育ノ任ニ自ラ當ル人ガ、一番必要デアルト云フ考ヘ
デ、調査ヲシタ次第デアリマス
○三善清之君 本案ニ就テハ、過日來カラ段々政府委員
ノ説明モ承ッタノデアリマスガ、私共ノ考ヘデハ、今少シク經
費ヲ見積シテ、大ニヤッテ貰ヒタイト思ヒマスケレドモ、既ニ政
府ガ是ダケデ、先ツ試験的ニヤシテ見ヤウ、斯ウ云フコトモアリ
リマスカラ、一番議論ハナカラウ、大體ニ委員諸君ニ於テモ、
過日來カラノ質問ヲ拜聽致シマシタガ、是ハ此案ヲ委員會
ニ於テハ、成タケ御賛成ニナッテ、政府委員ノ所謂政府ノニ
御任セニナッタ方々宜カラウト本員ハ思ヒマス、ソレデ尙ホ序
ニ御尋シマスガ、本員カ一昨日デスカ御尋フ申シタノ對シ
テ、主務大臣カラ御答辯ガゴザイマシタガ、重ネテ一寸伺ヒ
マスガ、中學生ガ高等學校ニ移ルニ、四年ノ修養程度ヲ
以テ試験ヲシテ、高等學校ニ入レルト云フコトハ、至極是ハ
大賛成デアリマス、所ガ此試験ニ落第シタモノガ、五年級ノ
科目ヲ修メ、其五年級ノ科目ハ高等學校ニ入ル時分ノ試
験科目デナイカラ高等學校ニ移シ、相當ノ課程ヲ四年級ニ
復習サセル、然ラザレバ、五年終了ノ課程ヲ以テ制限ヲスル
ノガ相當デナイカト云フコトヲ御尋シタノデアリマスガ、段々

ソレニ就テハ色ニ御説モアタガ追ニ改善ヲスルト云フノテ、而シテ高等學校ヲ四月ニシタカラ、其邊ノ事モ大分關係ガ違テ來ルダラウト云フコトデ、是ハ中學ガ四月ニ濟シテ、四月ニ高等學校デヤ一年遅レモノハ遅レテ來ルカラ、何トカ方法ヲ御立テニナラスト行カナイヤウニ考ヘマスガ、何カ御考案ガアリマスカ、伺ヒマス、ソレトはハ大シタコトデハアリマセヌガ、或議員ノ御尋ニ對シテ、大臣ノ御答ニナシタ督學官ナント云フ者ニハ、成ベク經驗ノアル方ヲ任ジテ大學出身ノ餘リ經驗ノ無イ人ヲ御使ヒニナラヌ方が宜イト云フ説ガアリマスガ、其點ニ就テドウデゴザイマセウ

○南政府委員 第一ノ高等學校ノ入學試験ノ程度ノ問題ニ就キマシテ、是ハ今御述べニナシタコトニ就キマシテハ、聊カ御尤ナ點モアルダロウト思ヒマス、兎ニ角此四年生カラ四年終了ノ程度ヲ以テ、試験ヲスルト云フコトニナシタコト、謂學年ノ短縮ヲシテ、今少シ此大學ヲ早ク出ルヤウニスルト云フ朝野多年ノ問題ノ解決トシテ、中學校デ一年前四年修了カラ入學ヲスルト云フコトニナシタコト、東京ノヤウナ大都會ノ專ラ高等學校ノ入學志願者ノ多イ學校ハ、御説ノ說ノ通り四年デ試験ヲ致シマスル、五年生ハ四年ノ補習ヲスルト云フコトニナラウト云フノハ、已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、併シ地方ニ依テ狀況ヲ異ニ致シマシテ、東京ノヤウナ大都會ノ專ラ高等學校ノ入學年ガ始マッテ高等學校並ニ大學ガ九月カラ始マル、隨テ入學試験ハ四月ニ於テ其四年終了ノ者が、此入學試験ニ應ズルコトガ出來ルト云フ結果、五年生ノノ學校ノ系統ハ學年ガ始マッテ高等學校並ニ大學ガ九月、ヤウナ有様デアリマスカラ、大體ニ於テハ地方ノ方デハ御心配ノヤウナ事ハ少ナイカト思ヒマス、兎ニ角此問題ハ將來餘程講究スベキ問題ト當局者モ思ツテ居ル、從來此四月ニ外ノ學校ノ系統ハ學年ガ始マッテ高等學校並ニ大學ガ九月、リマスカラ、此學期モ繰上ダマシテ、來年度ニ於テハ四月ニ於テ入學試験ヲ行フト云フコトニ、大學モ高等學校モ致シマス、高等學校ノ入學試験モ四月ニ於テスル、斯様ニナリマスカラ高等學校ノ入學試験ノ爲メニ、五年生ガ困難ヲ生ズリヤウナ憂モ少クナリハシナイカト考ヘテ居ル、兎ニ角來年度實行シテ其經驗ニ顧ニテスルコトニ——尙ホ督學官ノ大學ヲ多ク採シテ居リマス、或ハ高等師範學校デ教育ニ從事シテ居タ人デアルトカ、殆ド此學校ヲ出テ未ダ教育ノ事務ニド云フコトハ、是ハ詢ニ御説御尤デ、今日ノ文部省ニ於キマシテモ、督學官ハ多く地方ノ學校ノ教育ニ從事シタ人力ラ多ク採シテ居リマス、或ハ高等師範學校デ教育ニ從事シテ居タ人デアルトカ、殆ド此學校ヲ出テ未ダ教育ノ事務ニ

経験ノ無イ人ト云フ者ハ、一人モ無イト云フ状態デアリマスカラドウゾ…

○小橋藻三衛君 既ニ皆サンカラ御意見ガ出テ質問ト御意見ト混亂シテ居ル、段々質問モ繰返ヘサレテ一應御聽ニナタダラウト思ヒマス、今日ハ若シ採決セラレルニ當テ必要已ムヲ得ザルモノガアレバ、特ニ御許シニナルコトニナッテ居ルト思ヒマス、餘程暑サノ時分デスカラ此邊デ…○委員長(横山寅一郎君) 皆サンノ御希望モアンダカラ、マスガ、是カラ成ベクモウ一ツ討議ノ方ニ御這入リヲ願ヒ○樋口秀雄君 質問ヲ御切りニナッテ討論ニ入りマスレバ私ハ申シマス只今小橋君カラノ御説モアリマシテ、先日質問ヲ打切りニナッテ居ラレタデアリマスカラ、最早質問モ大體御盡キニナタダヤウニ思ヒマスガ、若シ御決議ニナリマスレバ、此臨時議會ハ四十二議會ノ繼續デアリマセヌケレドモ、僅カ四箇月ヲ隔テノ議會デアリマシテ、此案ガ公立學校ノ職員ノ年功加俸ナドト共ニ、昨年ハ附議セラマシテ、其際國民黨ノ有森君カラシテ、此案ニ就テハ希望條件、公立學校ノ案ニ就キマシテハ修正意見ガ出タノデアリマス、然ルニ此公立學校ノ事ハ今日ハ此委員會ノ討議ニナッテ居リフセヌ實業學校ノ方面ノミニ就テ、此前ノ御希望ノ一ツヲ申シマスルト政友會ノ漆君、一宮等カラモサウ云フ御希望ガアリマシテ、此三十万圓ノ補助額デハ金ガ甚ダ少ナイデハナイカ全體トシテ貰ヒタトイ云フ御意見モアリ、又小橋君ノ御意見トシテハ、第七條ハ八分ノ一トアリマシタノヲ、一部ト改メタ、其改正ノ意味ガ此方面ニモウ少シ力ヲ得テ補助ヲ多クシテ貰ウト云フ方ノ經費ヲ多クシテ貰ヒタイト云フノデ、一部ヲ改メルト云フナラ「贊成スルト云フ御意見ガアッタ、サウシテ大臣次官モ御答辯ニナッテテ言明ニナッテ全會一致デ可決シタノデアリマス、私ハ先日缺席シテ居リマシタガ大体此案ニ御異論ハナイヤウデ、唯最後ニ一方ノ案ニ就テハ、公立學校ニ就テハ修正、他ノ案ニ付テ希望條件ト云フノヲ、希望條件ト云フコトデナクテ、單ニ希望ガアダト云フ邊ニ止メテ置イテハドウダト云フコトヲ私カラ提議致シ、又修正モ甚ダ面白クナイカラシテ、大臣ノ言明ニ依テ修正意見ヲ出サスト云フコトデ、大臣カラスガ、此第七條ノ第二項ヲ適用スベキコトニ就テモ、十分意ヲ用井ルト云フヤウナ御意見ノ御返辭ガアッタ、ソコテ貴ヒタイト云フヤウナ御意見ガアダガ、前ノトハ程度ガ少シ違テル南次官カラノ御答辯ガアダガ、前ノトハ程度ガ少シ違テルヤウニ思フ、此八分ノ一トアリマスノハ態、一部改メタ

ノハ減ラスト云フ意味デナカタ、多クシテ貰ヒタイト云フ、政府モ其積リデアル上云フ御意見デアリマスガ、今ノ御答デハ多クスルト云フコトガ必要條件ニナッテ居ル、額カラ云フテモ、此前ト同ジク三十万圓ノ二分ノ一ノ十五万圓デアリマスカラ、本年ニ於テモ四分ノ一以上ハ、第七條ノ一ヲ御適用ニナルト思フ、此前ノ議會ノ意思ヲ尊重スレバ、當局ヨリ此意味ニ於ケル言明ヲ得テ、其上デ全會一致デ賛成シタスカラ、斯ウ云フ案デアリマスカラ、議論ナシニ私ハ決議シテ頂キタイト思フ、前回ノ經過ヲ大体申上ダテ諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイト思フ○南政府委員 唯今樋口君カラ御述ベニナッタ事ハ、大体ニ於テ前ノ議會ニ於ケル政府ノ言明ハ其當時ト今度ト變テ居ナイノデアリマシテ、無論將來ニ於キマシテ相當御希望ニ副テ、増額ヲスルコトハ必ず有ルト思フ、其節ハ是非増額致シテ御協賛ヲ願ヒタイ積リデアリマスガ、何分ニモ今回ノ議案ハ追加豫算デアッテ、事實ニ於テハ前議會ニ於ケルモノト何等變リハアリマセヌガ、大体ニ於キマシテハ、前議會ノ提案ヲ以テ御協賛ヲ願シテ、將來此御希望ニ副コトハ政府モ最モ希望スル所デアリマスルカラ、必要ニ應ジテ増加ノ計畫ヲ立テタイト云フ、斯ウ云フ風ニ考テ居リマス、ソレカラ第七條ニ就テハ樋口サンハ私ノ前ノ説明ト、今度ノ説明トガ違フヤウナ御説デアリマシタガ、私ノ意見ハ毛頭其點ニ就テハ變リハナイト思フ、依然實業教員ノ養成ニ力ヲ用ヒテ居ルズ、貴方ノ御考モサウ云フコトニ御改メラ願ヒタイ、ソレカラ八分ノ一以内ト云フノヲ學資金ノ支給ニモ困ルト云フ點カラ之ヲ「一部」下御改正ヲ願フノデ、其點ニ於テ、前議會ノ説明ト今ノト、若シ相違ガアッタヤウニ御聽取リニ成ダナラバ、私ノ言葉ガ惡イノト御承知ヲ願ヒマス○委員長(横山寅一郎君) 大体質問ヲ此位ニシテ、後ハ御討議デ御意見ヲ得タイトモニアリマス○高柳淳之助君 此事ニ就テハ皆サン御異議ナイヤウデアリマスカラ、是デ決定シテ第六條ノ二ト書イテアルノハ、全其内容ガ違シタ事ヲ規定シテアルノデアリマスカラ、是ハ第六ノ二トセズ、第七條ノ二トシテ置イタ方ガ後デ此規定ヲ設ケタリキニ、趣意が明確ニ成リハセヌカト思フガ、サウ云フ風ニ討正シテ頂キタイト思ヒマス○山崎政府委員 唯今ノ御質問ノ御趣意ハ承知シマシテラレントコトヲ希望致シマス、別ニ議論ハゴザイマセウガ、問題ハ實業教育上極メテ必要ナルモノア、又御説明ニ依リマシテモ、第七條ノ八分ノ一以内ヲ一部改正スルコトモ、是ハ適當デアルト思ヒマス、殊ニ豫算ニ於キマシテハ、皆費用ノ支途ガ極マンテ居ルカラ別ニ問題トスベキモノモアリマス、又法文ノ方モ是デ適當デアルト考ヘマス、尙ホ懲ヲ申シタインハ申スマデモナ、教育ナルモノハ、國家成立ノ根本條件ナル重大ナ事柄デアリマスカラ、此法律ヲ規定スル上ニハ、實ハ當局ニ於キマシテハ十分ノ御考ヲ以テ、此法律ヲ御制定ニナルコト、心得マスガ、不幸ニ致シテ此教育事業ト云フモノヲ見マスルト、ドウモ第六條ノ一ノ如キハ、當初ニ於テ實際出來得ベキ事柄ノヤウニ思ハレル、例ヘハ第七條ノ所ニ、是ハ本省カラ金ヲ遣る場合ヲ書イテアッタヤウニ、此規定ノ中ニ其當初ニ於テ、今日ノ如キ時代ノ發生スルコトヲ豫想シマシタラバ、此七條ノ中ニ、地方ニ於テ補助スルコトヲ明記シナイノハ、法文ノ体裁ヲ整へル上ニ苦シカタモノガ、此法文ニハ迪方ニ對シテ補助スルコトノ考ガナイモノト見エテ、第六條ノ二ノ如キハ脱ケテ居タノデ、遺憾ニ思フノデアリマス、デ本案第六條ノ二ハ補習教育ニ限定セズニ、今申シタ意味デ、立法ヲシタ方ガ宜シクハナイカト思フ、在來ノ立法ノ意味カラ云ヘバ、政府デハ能ク人ノ言葉ヲ氣ニセラル、モノト見エテ、殊更ニ法律ヲ制定セラル、ノデ、意ニ充タヌ點ガアルヤウニ思フ、今日ニ於テハ補習教育ニ必要ナル補助金トアリマスカラ、豫算ヲ設ケル上ニ於テ、此方面モ廣キ範圍ニ於テ定メラレテ苦シクナイト思ヒマスガ、今日ニ於テ此法律ハ完全スルコトニ考ヘラレルデスカラ、原案ニ贊成スルノデアリマスガ、更ニ文部當局ニ於テハ、何等カノ教育ニ關シテ、立法ノ必要ガアルカ、若クハ命令規定ノ必要ガアル場合ニハ、百年ノ長計ヲ慮リテ、現在ノ人ノ口端ヲ氣ニスルコトナク、永遠ノ大方針ノ下ニ、立法若クハ命令、規定ヲ定メラレンコトヲ此機會ニ一言希望ヲ述ベテ、原案ニ贊成致シマスカラ、皆サン御意見ガナケレバ直チニ決ヲ採ルコトニ致シマス、御異議アリマセヌカ

○委員長(横山寅一郎君) 御異議ガゴザイマセヌカラ、サマスクレドモ、分リ易イ爲メニ一言申シテ置キマス○委員長(横山寅一郎君) 御異議ガゴザイマセヌカラ、サマスクレドモ、一寸御参考マデニ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、第六條ノ二トアリマスケレドモ、是ガ本年法文ノ要領ニ成シテ居ルノデ、第六條ノ二トスルカラ云フテ、決シテ第六條ハ、兄弟分ノヤウニ見エマスケレドモ、サウデナイカラ、其點御了承ヲ願ヒマス、ソレハ申上ゲルマデモナク、分ッテ居リマスカラ、皆サン御意見ガナケレバ直チニ決ヲ採ルコトニ致シマス、御異議アリマセヌカ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(横山寅一郎君) 唯今山田君ノ御意見モアリマスカラ、皆サン御意見ガナケレバ直チニ決ヲ採ルコトニ致シマス、御異議アリマセヌカ

○委員長(横山寅一郎君) 御異議ガゴザイマセヌカラ、サ

ウ云フコトニ致シマス

○樋口秀雄君 唯今申述マシタヤウナ次第ニアリマスカラ、ドウノ御報告ノ際ニ前回ノ議會ニ於ケル趣旨ニ於テ、財政ノ許ス限り、モウ少シ額ヲ増シテ貰ヒタイ、ソレカラ第七條ノ二ノ一部トシタノハ増加ノ意味アルト云フ委員會ノ議ガアツテ當局モノレヲ承認シタト云フコトヲ御報告ニ御附加ヘテ願ヒタイ

○委員長(横山寅一郎君) 前會ノ通リデアリマス承知致シマシタサウスルト皆様御異見モザイマセヌヤウデスカラ、滿場一致ヲ以テ可決シタコトニ決定致シマス、散會

午前十一時十一分散會